

清吟堂吟友会 出雲ブロック会報

信 条

- 詩歌を吟じて楽しんでみましょう
- 詩歌を吟じて美しく見せましょう
- 詩歌を吟じて明るく楽しい郷土を築きましょう

発行 清吟堂吟友会出雲ブロック 広報部 第25号 令和3年7月1日

ピンチをチャンスに



清吟堂吟友会出雲ブロック

会長 橋本清邦

木々を渡る風も爽やかな頃となりました。会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る四月三日に鳶巣コミュニティセンター（鳶巣アリーナ）に於いて令和三年度通常総会が開催され、令和二年度の事業・決算報告と役員改選、そして本年度事業・予算計画が承認され、新年度がスタートしました。

昨年度は、コロナ禍の状況下でほとんどの事業が中止・延期になる中、清吟堂本部より感染予防対策の指針が示され、戸惑いながらも何とか段階審査会、育成大会を開催することができました。久々に見る皆さんの顔はうれしそう、吟詠をすることにこれほど喜びを覚えたことはありません。

さて今年には創立四十五年の記念となる年です。記念大会は、みんなが出演

し喜びを分かち合うことのできる、そして思い出に残る、そんな企画にしたいと思っています。七月頃から記念大会に向かつての準備に入ります。どうか協力の程宜しくお願い致します。

未だコロナウイルスの収束が見えない中、この四月中旬頃からは、感染の第四波が近づいておりこれからの活動が心配です。昨年同様に感染状況を確認しながら対策を講じて行きます。

今年度は、昨年度取り組んだコロナ経験を踏まえ、既存のやり方を見直し、改善を図り、ステップアップが出来るよう実施して行きたいと思えます。

1. 練習に工夫

清吟堂で取り上げられてきた親しみやすい吟題（祝吟、民謡、歌謡曲、詩、陽旋の入った曲等）を練習時間に取り

入れ、詩吟をより身近なものとして楽しむ。

2. 大会に於いての役割、業務の見直し

大会等で簡素化出来る事項は見直し、役員さんの作業負担軽減につなげる。

3. 指導者、支部長への連絡網の改善

情報がより早く、確実に皆さんに伝達できるよう仕組みづくりをする。

コロナ禍の中でも皆さんが一緒になって楽しい吟詠が出来るよう模索して、出来る事は実行し、そしてコロナ収束後には明るい郷土づくりを目指し、地域に貢献できる吟詠活動となりますよう努めて参ります。

今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



令和三年度

通常総会開催

令和三年度のブロック総会が、四月三日(土) 蔦巣コミュニティセンター蔦巣アリーナにおいて、コロナ感染症の早期の収束が見通せない中、今年度もマスク着用、密を回避するなどの対策をしながら開催されました。本年度は通常議事の他、役員の一部改選がありました。

総会に先立ち、三月七日(日)にコロナ対策として段位ごとの時間差入場で密を避け行われた、育成吟詠大会の表彰式がありました。

総会では、昨年度の事業・決算報告並びに新年度の事業計画・予算案が審議され、全会一致で承認されました。

また、本年度は役員の一部改選があり、副会長の桑原青風氏が退任され、新たな副会長に曾田麗翠氏が選任されました。新年度の役員、行事予定は、下表のとおりです。写真は、コロナ対策を講じて行われた令和二年度段位審査会、令和三年度通常総会の模様です。



通常総会 R 3. 4. 3



段位審査会 R 2.11.28

令和3年度 出雲ブロック行事予定

令和3年4月1日

日	行 事	場 所
4/ 3(土)	ブロック通常総会・ブロック支部長会	蔦巣コミュニティセンター
4/11(日)	全国吟詠コンクール島根県大会	島根県民会館
5/ 1(土)	ブロック支部長会	
5/ 9(日)	審査員研修会	島根県東部
5/16(日)	本部理事会・本部通常総会	松山いよてつ会館
6/ 5(土)	ブロック支部長会	
6/13(日)	吟士権出雲地区吟詠大会	大社うらら館
7/ 3(土)	ブロック支部長会	
7/11(日)	島根県東部吟士権決勝並びに指導者吟詠大会	松江市
7/11(日)	全国剣詩舞コンクール中国大会	広島
7/18(日)	全国吟詠コンクール中国大会	岡山
8/ 7(土)	ブロック支部長会	
8/ 7(土)	第1回会員増強対策会議	
8/22(日)	中国地区吟詠特別研修会	広島
8/29(日)	吟士権並びに指導者決勝大会	松山市
9/ 4(土)	ブロック支部長会	
9/26(日)	寿栄大会	松江市
10/ 2(土)	ブロック支部長会	
10/15(金)	第68回清吟堂吟剣詩舞道大会	松山市民会館
11/ 6(土)	ブロック支部長会	
11/21(日)	出雲地区段位審査会	ニューウェルシティ出雲予定
12/ 4(土)	ブロック支部長会	
1/ 8(土)	ブロック支部長会	
2/ 5(土)	ブロック支部長会	
2/ 5(土)	第2回会員増強対策会議	
2/27(日)	令和3年度育成吟詠出雲地区大会	斐川文化会館予定
3/ 5(土)	ブロック支部長会	
3/20(日)	出雲ブロック45周年記念大会	ラピタ予定

令和3年度 出雲ブロック役員

令和3年4月1日

役 職 名	部 長	副部長
会長	橋本 清邦	
副会長	高野 公風	
副会長	佐藤 麗雪	
副会長	曾田 麗翠	
事務局長	高橋 充男	
事務局 担当部	錦織 勇風	板垣 麗香
// 育成会担当部	吉川 麗京	須山 昌
// 吟士権担当部	石飛 海風	増田 昇風
// 段位審査担当部	布野 年風	三成 淳風
// 寿栄大会担当部	石飛 雅風	石飛 夏風
// 会計担当部	矢田 麗実	坂本 麗真
指導研修局長	佐藤 麗雪	吉田 麗篤
指導研修局 伴奏担当部	安部 麗雨	勝部 麗迦
剣詩舞局	土江 麗松	吉田 滉風
組織運営部	橋本 清邦	曾田 麗翠
広報部	樋野 朝風	石崎 郷風
会計監事	三原 皓風	
会計監事	三成 麗歳	
常任顧問	高田 清慶	
常任顧問	土江 清真	
常任顧問	森山 清雲	

各種吟詠大会の結果

令和二年度育成吟詠大会

R3・3・7 斐川文化会館

新人・準初段の部

- 入賞 湯浅 素直 (平野第二)
- 名原 絹代 (あじさい)
- 久保田真理子 (清吟出雲)
- 佳吟賞 今岡千恵子 (佐田)

初段の部

- 入賞 米田 拓朗 (四絡)

三段の部

- 入賞 浅野 正明 (平野第二)
- 小中 寛 (斐川)
- 三島 宏一 (今市)

- 佳吟賞 安食留美子 (佐田)

四段の部

- 入賞 加谷 公代 (吉場)
- 田畑 晴美 (あじさい)
- 高橋 充男 (清吟出雲)
- 深石 政朋 (佐田)
- 山中 洋美 (琴引)
- 石飛 邦子 (里方)
- 大輝 孝志 (四絡)
- 佐藤 弘美 (西平田)
- 高野 健 (清吟出雲)
- 佳吟賞 古川 久枝 (富)
- 福島 藤枝 (平野第二)
- 勝部 朋子 (六道)
- 田中 秀明 (平田東)

五段の部

- 入賞 橋本 泰明 (平田東)

出雲地区吟士権大会

R3・6・13 大社うらら館

新人・準初段の部

- 入賞 湯浅 素直 (平野第二)
- 新宮 幸子 (里方第二)
- 常松 智子 (あじさい)
- 佳吟賞 福井 美恵 (あじさい)

初段の部

- 入賞 後藤 寿江 (琴引第二)
- 佳吟賞 米田 拓朗 (四絡)

二段・三段の部

- 入賞 浅野 正明 (平野第二)
- 川瀬 紘一 (国富)
- 古川由美子 (あじさい)
- 佳吟賞 小中 寛 (斐川)

寿栄一の部

- 入賞 奥野 麗愛 (なでしこ)
- 佳吟賞 佐藤 麗愛 (六道)

寿栄二の部

- 入賞 石飛 雅風 (ラピタ)
- 角 康風 (平野第二)
- 吉岡 麗泉 (平野第二)
- 池淵 郁子 (神名火)
- 佳吟賞 勝部 麗弘 (六道)

四段の部

- 入賞 錦織 千枝 (里方第二)
- 加谷 公代 (吉場)
- 福島 亘 (里方第二)
- 古川 久枝 (富)
- 吾郷須摩子 (碩原)
- 多々納 均 (斐川)
- 山崎智恵美 (琴引第二)
- 深石 正朋 (佐田)

佳吟賞

- 小村 淳子 (吉場)
- 山中 洋美 (琴引)
- 小村 直之 (清吟出雲)
- 伊藤 美雪 (あじさい)

五段の部

- 入賞 児玉 春雄 (稗原)
- 高橋 麗梢 (御衣黄)
- 大國 麗裕 (さつき)
- 橋 誠一 (今市)
- 清水 睦子 (国富)
- 倉橋 光風 (JAいずも)
- 橋本 泰明 (平田東)
- 湯浅 保 (平野第二)
- 高橋 航風 (蛇島)
- 佳吟賞 布野 年風 (神西)
- 伊路見誠治 (今市)
- 落合早智子 (平野第二)
- 坂本 麗眞 (メタセ)

六段の部

- 入賞 板垣 麗香 (佐田)
- 吉川 麗京 (里方)
- 山本 樹風 (JAいずも)
- 矢田 麗実 (メタセ)
- 花田 麗華 (メタセ)
- 常松 麗華 (平野第二)
- 増田 麗生 (四絡)
- 岩崎 麗香 (里方)

七段の部

- 入賞 若林 麗恒 (里方)
- 三原 皓風 (出雲中央)
- 佳吟賞 竹田 麗穂 (ラピタ)

全国吟詠コンクール島根県大会

R3・4・11 島根県民会館

一般一部

- 優勝 杉原 由佳 (御衣黄)

- 準優勝 勝部美穂子 (琴引)

- 第三位 加谷真理子 (吉場)

一般二部

- 準優勝 安部 豊枝 (琴引第二)

- 第三位 曾田恵美子 (平野第二)

- 入賞 錦織 千枝 (里方第二)

一般三部

- 入賞 児玉 春雄 (稗原)

- 三成 俊次 (平野第二)
- 桑原 徳郎 (蛇島)

- 中国大会出場

- 中国大会出場

- 中国大会出場

会員表彰

会員増強奨励表彰

荒木 麗幸(里方)

板垣 麗香(佐田)

田畑 晴美(あじさい)

加谷真理子(吉場)

桑原 青風(蛇島)

多久田秀實(なでしこ)

岩瀧 麗民(神名火)

浅野 正明(平野第二)

伊藤 寿記(清吟出雲)

三上 敏弘(JA出雲)

二十年会員精励表彰

竹田 麗穂(ラピタ)

高野 公風(稗原)

原 實風(平田第一)

桑原 青風(蛇島)

十年会員精励表彰

平井 邑采(里方)

大國 快徒(さつき)

北村 直樹(さつき)

三成 淳風(稗原)

児玉 春雄(稗原)

松井 征一(四絡)

塩野 篤(四絡)

橘 誠一(今市)

今岡 健(今市)

錦織 勇風(今市)

伊路見誠治(今市)

湯浅 保(平田第二)

落合早智子(平田第二)

樋野 朝風(斐川)

山崎智恵美(琴引第二)

山本 紘子(メタセ)

北野 麗北(富)

井上多津子(御衣黄)

清水 睦子(国富)

金築斐那子(国富)

多久田秀實(なでしこ)

地区功労者表彰(五年)

大野 利夫(ラピタ)

三島 宏一(今市)

佐藤 康宏(平田第二)

浅野 正明(平野第二)

小村 淳子(吉場)

文芸の広場

短歌

○孫巢立ち授業リモートコロナ禍の
見えぬ脅威に逢いにも行けず
里方支部 吉川 京子

○オリンピック見据えて競うアスリート
戦う姿凛としてすがし
斐川支部 小中 寛

○アトリエの窓越しに観る放棄畑
主はいずこ夏草は燃ゆ
空の碧山の緑に蕎麦の花
茎の紅きは山姥の血とぞ

○待ち焦がれ母の両手にとんでいく
夕靄のなか一直線に
車窓越し青葉まぶしく目を細め
トンネル抜ければ波が泡立つ

○大牡丹ゆつくり夜に沈みゆく
○荒れし手で真綿のような蓬摘む

○黄昏て散り際愛でる老桜
○新園児卵二つの拳かな
ラピタ支部 石飛 勝

俳句

琴引第二支部 安部 豊枝

○これほどの囁り鎌を置きたれば
○読みかけの本あり山に若葉あり
琴引第二支部 山崎 智恵美

川柳

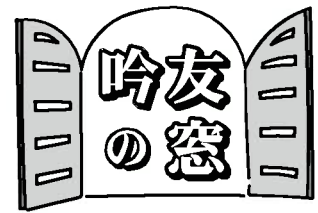
○コロナ禍も桜ほほえみ花踊る
○古希過ぎて動かぬ身体動く口
ラピタ支部 石飛 勝

○幸せにすると言うからついて来た
○どの子にもみんなやさしい母の顔
今市支部 今岡 健

○朝が来た独り芝居で頑張ろう
○コロナ無視ミニぼたん園真つ盛り
今市支部 佐野 美和子

○失敗を嘆かず生かす老いの知恵
○気持だけ若いつもり落とし穴
四絡支部 増田 登





入会してから3年



出雲中央支部

廣戸麗生



私が清吟堂吟友会に入会してから、早いもので、三年が経とうとしています。この三年、先生の指導のもとで、育成大会、吟士権大会、段位審査、全国吟詠コ

ンクール鳥根県大会と参加してきました。もともと人前で話したりするのが苦手な私なのに、沢山の会員の前で発表するたび、胸はドキドキ、気持ちは上がったまま二分間が過ぎてしまい、普段通りに吟じられず、間違ひなかつたかしら？と、いつも反省ばかりです。私は以前、他の流派で十三年、教わっていました。詩を暗記して吟ずる事、曲に合わせて吟ずる事、マイクを自分で調節する事など、今までと違う事が多く、ま

ずそれに慣れる事から始まりました。清吟堂では新人ですが、以前の段を考慮して頂き、今思うと過ぎたる段を頂いたように思います。教室の先生の指導のもと、私なりに頑張つて来ましたが、発音、発声、口型など、いろいろ勉強しなくてはいけない事ばかりで、思うように吟じられず、何回も辞めようと思いましたが、そんな私が先生の勧め

詩吟と私



ラピタ支部

藤江基

で全国吟詠コンクール鳥根県大会に参加した時も、様子がわからないので不安はありましたが、とても良い経験をさせて頂いたと、先生には感謝しています。良い経験といえ、特別講習会への参加で、本部の先生の講習で得るものがあつた事と、吟じた後、マイクの前の立ち位置、吟

評(特に優しい)など聞いて、もう少し頑張つてみよう、教室の皆様と楽しみながら、吟を勉強する事が出来ればと思う様になりました。もう一つは、入会してから五ヶ月目に松山市民会館で開催された第六十五回清吟堂吟友会吟剣詩舞道大会(九月二十二日〜二十四日)に参加し、合吟に参加

させて頂いたこと、他の教室の先生方、先輩方と一緒にできた事は、とても貴重な経験でした。本当にあの時は皆様有り難うございました。清吟堂の会員の一人として、皆さまに少しでも近づける様、精進して参りたいと思っています。

ました。(実践はまだまだ
伴いませんが...)。

二番目は、口形の重要性
です。一年目の育成大会で
審査長さんに指摘された口
形(発生の支点)の曖昧さを、
今年の大会でも指摘を受け
ました。認識不足を痛感し、
最近の練習から、特に意識

するようになっています。

縁あって齢六十四で始め
た詩吟ですが、厳しくかつ
楽しい雰囲気のリピタ支部
の先生をはじめ諸先輩に指
導していただき、精進した
いと思えますので、今後とも
よろしくお願いいたします。

城と詩吟と



あじさい支部

古川由美子

旅行すると、よくその地
の城めぐりをします。アル
プスの山々をバックに美し
くそびえる松本城、石垣修
復工事のため天守を移動し
ている弘前城、初めて石垣
に感動した津山城、火事で
焼け落ちてしまいました
が、琉球王国の栄華を伝え
る首里城…。若い時はただ
ただ城の美しさを眺めてい

たように思います。今は
その時の背景を想いなが
ら、時には武士、時には石
工になつたつもりで楽しん
でいます。また、最近御
朱印ならぬ御城印を販売す
る城が増えており、それを
頂くのも楽しみの一つで
す。今はコロナで出かける
ことができなく、残念でな
りません。

さて、子どもが就職し何
か始めようとしていた矢
先、「詩吟してみない？」
と声をかけていただき、詩
吟が何かも分からないまま
入会しました。先生の熱心
なご指導と先輩方のお手本
の下、楽しく練習していま
す。最初の段位審査は、お
そらく学生の時以来何十年
ぶりのステージに立ち、極
度の緊張で頭が真っ白にな
りました。そして吟士権大
会指定吟題集を頂いたとき
のこと。何気なく見ている
と、「早に白帝城を発す」
が目に入りました。もちろ
んこの漢詩は中国の白帝城
の事ですが、私は犬山城が
浮かんできました。木曾川
の畔から眺める城の美しさ
から、別名白帝城と呼ばれ
る犬山城。それまで吟じる
ことに一生懸命でしたが、
情景を頭に描きながら吟じ
ることができました。これ
がきっかけで漢詩に興味を
持つようになりました。
まだまだ勉強することは

たくさんありますが、これ
からも練習に励み、楽しく
詩吟を続けていこうと思ひ
ます。

新しい吟の仲間と感激のひと時



今市支部

須山 昌

長らく続くコロナ禍の
中、気持ちがつつきりしな
いところに昨年八月二十二
日(土)地元中山陰中央新
報に写真入りで「絶景ポイ
ント誕生・景色を楽しむ詩
吟の会会員」と記事が載っ
ていた。
詳しく読むと、松江ブ
ロックの会員の方で、平成
三十年の会員名簿で調べる
と北山赤秋支部の皆さんで
あった。面識は全然なかつ
たが、指導者の山本麗峻さ
んに思い切つて電話を入れ
る事にした。
「新聞を拝見しています
が気持ち良さそうに吟じて
おられる写真ですね！私は
出雲ブロックの会員です。」
と伝えると、「是非来てく
ださい。登山入り口が私の
住まいですからご案内しま
す。」と、心やすく明るい
声で返事があった。いつか
行こうと思つていたとこ
ろ、秋の良く晴れた十月中
旬、松江に行く便がありそ
の足で尋ねた。
丁度昼過ぎ。大きな声で
数回「こんにちわ！」。昼
寝中であつたが、事情を説



明するが早いか、「上がってください」と言われ、直ぐ靴を脱ぎ部屋へ入るや否や「昼ごはん食べた？栗ご飯があるから食べる？」と。たまたま遅い朝食で昼ご飯抜きでいた私は「頂きます！」。初めて伺った家に遠慮もせず上がり込み、その上、美味しい昼ご飯も頂いた。もう何年も前からの知り合いの感じだった。人を包み込み、温かく大らかな山本麗峻さんに初対面の私自身もびっくりだ。

その後、山本さんの案内で、新聞に載っていた澄水山へ車で上がり現場見学。なるほど素晴らしい眺めだ。山の急な斜面に先端部分を下にして竹が切り倒されている。その先には松江市街地、右の西側には宍道湖、三瓶山。左の東側には、中海の先に大山が見渡せる。この眺めを作るために竹七〇〇本を切り倒した支部長の井上富士雄さんもすごい人だ。山から下りた

ら、丁度川端でその井上さんが作業をしておられ、三人で一緒にお茶を飲みながら話もできた。川をきれいにして川床を作るそうだった。山を終え、今度は川だそうだった。地区のボランティア活動を積極的にされる井上さんにも頭が下がる思いだった。話している間に開けてあるガラス戸方向からの風は少し寒い感じがし、時計

を見ると五時前だ。時間を見れば忘れたひと時だった。帰りの道、心温かな吟仲間との付き合いがあった今日は、何かから何まで不思議な感じをさせる一日であった。吟をやっていてよかったな。新聞を見て電話をしてよかつたな。今日訪問をしてよかつたな。爽やかな秋晴れの中、感激の一日を体験した。

全国吟詠コンクール

島根県大会に参加して



平野第二支部

浅野 正明

退職後の私の仕事の一つに孫たちを保育園へ迎えに行くことがある。先日もある途中、何気なしに「一人カラオケ」ではないが、「一人詩吟」を迎える車中で唸っていたところ、下の孫

もなにかを歌っている。何とはなく聞いてみると、「ナゾマツタキヤエン」と。今度の県大会の私の吟題の一節を復誦しているのではないか。(吟題「桶狭間を過ぐ」の承句の部分)しかも、

そのあと、「ジイジイ、これは何の歌？」と聞いてきたので、ニンマリと解説したもののどこまで理解してくれたものか、でも、将来の私の後継者として詩吟が無関心の家内より評価してくれたことに思わず感激。

は「ほとんどの参加者はテキスト等を見ずに発表されていた」とお褒めの言葉をいただいた。また、「口形が小さいためこもって聞こえる」との指摘もあった。私自身、入賞は逃したが、先輩・上級者の「吟」を聞き、姿勢・吟じ方(コブシの回し方)等が大いに参考となり、また、入賞者の方が「最初から最後まで、録音し参考にすると」と言っておられたことを聞き、入賞する方は大会に臨む姿勢が違ふなど感心もした。

さて、「全国吟詠コンクール島根県大会」であるが、本大会は、段位関係なく、実力の大会であると聞いていたので、参加はまだ早いと思っていたが、講師からの勧めもあり、参加して自分の実力を試す良い機会であることと、皆さんの「吟」を聞くことも勉強かなと思いを参加した。当日は「新型コロナウイルス」の感染防止策で、多少窮屈な感じがしたがそれでもやむを得ないか」と。

今日も孫たちを保育園に迎えに行くが、その途中、孫たちを「合吟」に誘い「貴重で楽しい」時間を過ごしたい。

全員の発表

も終わりいよいよ成績発表、講評と続き、講評で



▲自画像です

〜出西コミセンへ絵画作品の

寄贈に寄せて〜

想い出を誘う『遠い日の灯り』



斐川支部

小中 寛

私の昭和時代は、学校の授業が終わると楽しい放課後が待っていました。男の子も女の子も夢中になって

遊んだ『花いちもんめ』
：秋の日はつるべ落と
し：田圃に誘蛾灯の青
い燈が灯るころ、家々



▶『遠い日の灯り』F80cm

R2 東光会元会員 小中 寛
〔国の登録有形文化財 斐川町武院 常松邸〕

の『灯り』が帰りを道に照らしていた幼い日々。いつの間にか昭和が終わる平成を過ぎ、とうとう令和時代まで来てしまいました。

還暦・古希を難なくクリアし、高寿・傘寿が瞬く間に過ぎようとしています。私は今、趣味仲間と人生の放課後を楽しんでいます。

◀ 出西コミセン高橋孝治センター長（左）と（2021年6月8日）



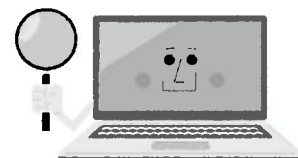
詩吟は、古希過ぎてから斐川支部にお世話になっていきます。その頃から練習場所の出西コミセン近くの【国の登録有形文化財 常松邸】を取材させて頂き、昨年、作品を出西コミセンの文化祭に出品したのを機に、関係者の皆様のお世話により寄贈させて頂いたことになりました。作品に対し、こころ温まる感想を頂いた方々に感謝致し、また早速集会所入口に掲額頂いたことにお礼申し上げます。

☆☆ホームページ更新のご案内☆☆

会報発行により、清吟堂吟友会出雲ブロックのホームページを7月中旬に更新します。アドレス等は以下。

s-ginyukai-izumo.la.coocan.jp
(エルイー)

yahooやgoogleの検索サイトで清吟堂吟友会出雲または詩吟出雲で検索すれば当ブロックホームページにアクセスできます。



あとがき

長引くコロナ禍の下、吟友会の教室での練習が継続できたこと、ありがとうございます。その上に、会長挨拶にもある通り昨年十一月の段位審査会、本年三月の育成吟詠大会が、感染症防止対策を講じて行われ、会員がステージ上での発表機会を得たことは大変喜ばしいことでした。新型コロナウイルスのワクチン接種も始まりました。今後接種率が上がってくれば収束が近づき、各種文化祭などでのオープンな発表が早い時期に可能になるのではと期待しています。

（樋野・石崎）